



(1) 尾去澤鑛山ダム決潰現場(X印)向つて右方は鑛泥奔流の跡。

尾去澤鑛山堰堤決潰事件

十一月二十日午前三時頃、秋田縣鹿角郡三
菱尾去澤鑛山中ノ澤の精鍊滓の硫化泥沈澱貯
水池のダム高さ約60尺が、數日來の降雨の爲
緩み突如決潰し、泥流は怒濤の如く物凄く奔
流して、鑛山と花輪町とを繋ぐ澤に殺倒しそ
の下流は全部長屋といはず住宅といはず農家
といはず泥流に押流され、或は埋没し、上流



附近に於ては硫化
泥數百尺下に埋没
した家屋あり、花
輪町鑛山間の交通
は全く杜絶し、泥
流は尾去澤字西道
口より更に米代川
上流に達し同川を
堰止めて川水を逆

流させ花輪驛附近の田圃まで一面に泥流の海
となし、未曾有の慘狀を呈した事件は、當時
新聞紙上に報導せられた處であるが、現地を
視察した商工省伊藤、榎本兩技師の報告に依
れば、次の如き狀況である。

災害の實況

今回災害を發生せる中の澤堆積場は一日約
千噸の選鑛々泥を堆積せしめつゝありたるも
のにして、昭和七年より使用開始し現在堰堤
の高さ六十米頂部に於ける長さ二百五十米堆
積物面積約一萬一千坪あり、堆積せしむる鑛
泥は選鑛場シツクナーより管及び樋により運
搬せらるゝものにして、水分約五十パーセン
トを含む、堆積場中心部には常に深さ約五十
センチ程度の上澄水を湛へ所謂尺八樋にて堰

山間の交通路改修、火葬場の建設等を完成し花輪にいはる索道の運轉を開始して物資の運搬を一層円滑ならしめたり。

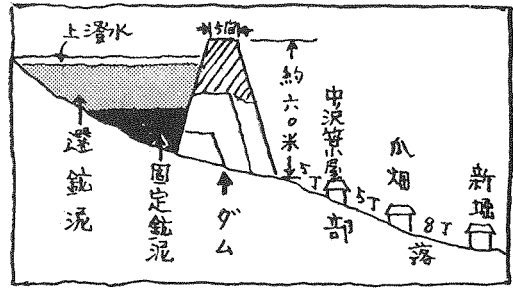
決潰部分の鑛泥扞止に関する 應急處置

決潰部分からはなほ少量の鑛泥流下を繼續しつゝあるを以て之を防止し且既出せる鑛泥排除を敏活ならしむる目的のため決潰堰堤の下流百米の位置に應急の堰堤(高さ約十米)を築造することに決し目下工事を進めつゝあり之が完成には約十日を要する見込で完成の暁は更にその下流百米に同様の堰堤を築造し萬全を期することゝせり。(二十三日)

被害状況

被害區域は鑛山内及び悪水川下流、米代川沿岸にして二十二日午後四時現在判明せる被害耕作地は悪水川下流數町歩と米代川沿岸二十町歩にて被害戸數は尾去澤町全戸數1051戸中322戸にして鑛山所有家屋198戸、民家24戸なり、然して被害人員は總人口6021名中1586名にしてうち死者271名、負傷者68名、行方不明96名、生存者1051名の見込みなり、尙

(3) 潰された劇場、左は町役場。



今回の災害に對し鑛山當事者としては取敢へず見舞金及び香奠を罹災者に贈り不明死體全部判明せる暁は合同葬を執り行ひ遺族に對しては事件の特殊性に鑑み充分の弔慰方法を講ずることゝなり又目下住所なき罹災者に對しては至急小學校々庭にバラック百戸(一三戸八疊一間)を建設し物資の配給には萬全を期しをれり、尙ほ鑛泥水流出による鑛害賠償については鑛山側で事件一段落の後慎重に考慮する豫定にして操業は現在救護に忙殺されつゝあるを以て全然休止せるは勿論年内の操業は困難なるものと認む、監督當局としては弔慰方法及び操業休止中の鑛夫の給與等については遺憾なきを期せしめたり。

